

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

(絵画科)

科目 区分	必修選択 の区分	授業科目	実務教員 による授業	うち シラバス添付	第一学年		第二学年		授業時数	実務教員授業時数		うちシラバス添付時数	
					週間授業時数	年間授業時数	週間授業時数	年間授業時数		第1学年	第2学年	第1学年	第2学年
講 義	必 修	西洋絵画史	●		2	48			48	48			
		絵画論	●		2	48			48	48			
		オリエンテーション			2	6	2	4	10				
		ベーシック			4	8	4	8	16				
		計				110		12	122	96			
演 習	自由選択	キャリアガイダンス			2	8			8				
		計				8			8				
		自由選択ゼミ	●				4	90	90		90		
	必 修	自由選択課題	●		4	100			100	100			
		計				100		90	190		76		
実 技	必 修	木炭デッサン演習	●		4	40			40	40			
		鉛筆デッサン演習	●		4	52			52	52			
		油彩演習	●		4	32			32	32			
		油彩画1	●		4	32			32	32			
		油彩画2	●	★	4	60			60	60		60	
		水彩演習1	●	★	4	36			36	36		36	
		アクリル画演習	●		4	32			32	32			
		アクリル画1	●		4	36			36	36			
		木炭デッサン	●		4	48			48	48			
		鉛筆デッサン	●		4	60			60	60			
		剥製デッサン	●		4	60			60	60			
		人体デッサン1	●		4	36			36	36			
		人体デッサン2	●				4	44				44	
		進級デッサン	●		4	44							
		修	日本画演習	●		4	94			94	94		
	野外写生		●		4	30			30	30			
	油彩画模写1		●		4	48			48				
	油彩画模写2		●		4	52			52				
	人体着彩1		●	★	4	60			60	60		60	
	人体着彩2		●				4	92				92	
	静物着彩1		●		4	48			48	48			
	静物着彩2		●		4	60			60				
	彫塑		●		4	32			32	32			
	夏期課題		●		4	36	4	32	68	36	32		
	冬期課題		●		4	20			20	20			
	春期課題		●		4	64			64	64			
	進級着彩	●		4	80			80	80				
小計				1,192		168	1,360	948	168	156	0		
実 技 演 習	必 修	アクリル技法	●				4	60	60		60		
		静物デッサン	●				4	60	60		60		
		画廊課題	●	★			4	120	120		120	120	
		絵画表現1	●				4	44	44		44		
		絵画表現2	●				4	44	44		44		
		絵画表現3	●	★			4	68	68		68	68	
		卒業制作参加資格課題	●				4	120	120		120		
	修	卒業制作	●				4	356	356		356		
		講評会	●		4	53	4	52	105	53	52		
		計				53	924	977	1,001	1,092	156	188	
小計				1,387	1,104	2,491	1,097	1,092	156	188			
そ の 他		東美祭、運動会			100		100	200					
		健康診断			4		4	8					
		計			104		104	208					
必修科目(講義・実技・演習)授業時数					1,491	1,208	2,699	1,097	1,092	156	188		
自由選択科目授業時数					108	90	198		76				
卒業に必要な総授業時数					1,491	1,208	2,699	1,097	1,168	156	188		

※上記、実務教員授業時数の合計には、自由選択科目を含んでいます。

東洋美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
造形専門課程	絵画科 昼間部(2年制)	2024	1年・前期
授業区分	授業科目名	担当教員	時間数
実技	油彩画2	小林 宏至	60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

構図、色彩への理解、質感表現や空間表現方法を習得することを目標とする。

【授業概要】

油彩画材料の基本的な説明を行い、実際の道具の扱いを学ぶ。
習得必須である油彩画材料への親しみを覚えることを目的とし、今後の制作活動に繋がっていくよう指導していく。

回	授業計画及び学習の内容
---	-------------

1	油彩画2 デモンストレーション・エスキース作業
2	油彩画2 各自作業
3	〃
4	〃
5	〃
6	〃
7	〃
8	〃
9	〃
10	批評会
11	
12	
13	
14	
15	
16	

【成績評価方法】

授業への積極性(出席、授業態度)、狙いの理解度、完成度により客観評価する。
出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

最初の演習授業ではデモンストレーションを交えて丁寧に教えていく。そこから油彩画材料への親しみを覚えることを目的とし、制作をさせる。担当講師は写実画家として活動しており、「第49回主体展」秀作作家 会員推挙、「第2回ホキ美術館大賞展」など受賞経験多数あり。渋谷東急本店や日本橋三越などで数多くの作品を発表し、受賞している。主体美術協会会員。

東洋美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
造形専門課程	絵画科 昼間部(2年制)	2024	1年・後期
授業区分	授業科目名	担当教員	時間数
実技	水彩画演習	小林 次男	36時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
・油彩画とは異なる水性絵の具の比較効果と扱い方を習得することを目標とする。			
【授業概要】			
・水彩画材料を基本から系統立てて学び、習得すべき基本材料として身に着ける基礎を学ぶ。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	エスキース、画材研究		
2	描画		
3	エスキース、画材研究		
4	エスキース、画材研究		
5	描画、批評会		
【成績評価方法】			
描画表現が難しいためどれだけ特質が理解できたか、制作過程と作品をみて判断する。 出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外とする。			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
水彩画材の特長である制作に於いての不可逆性を体験することで絵画制作での計画性の重要性を併せて感じられるように指導。			
担当講師は銅版画を専門に活動しており、国際美術トリエンナーレ審査員特別賞、ウヅジ国際版画ビエンナーレ最高賞受賞、ペラルーシ国際小版画トリエンナーレ1等受賞と、海外で数多くの作品を発表し、受賞している。			

東洋美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
造形専門課程	絵画科 昼間部(2年制)	2024	1年・後期
授業区分	授業科目名	担当教員	時間数
実技	人体着彩1	森吉 健	60時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
描画作業の中で自分に足りない技術を確認する。 自身の得意とする絵の具を使用しての描画力を高めることを目標とする。			
【授業概要】			
・画材は油彩・アクリル絵の具・水彩の中から選択し、組まれたモチーフや人体を描画する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	クロッキー		
2	エスキース、デッサン		
3	描画作業		
4	"		
5	"		
6	"		
7	"		
8	"		
9	"		
10	"		
11	"		
12	"		
13	"		
14	"		
15	"		
16	批評会		
【成績評価方法】			
画材や色彩に対する理解が深まっているか、構図の取り方、描画力、授業態度を総合して評価する。 出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外とする。			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
モチーフを変えながら、見方、考え方を繰り返す。描画力、絵の具の理解を高めるよう、指導する。			
担当教員は第9回前田寛治大賞展で佳作第三席受賞経験あり。現在日本美術家連盟会員。			
カルチャースクールも開いており、個展やグループ展も多く開催している。			

東洋美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
造形専門課程	絵画科 昼間部(2年制)	2024	2年・後期
授業区分	授業科目名	担当教員	時間数
実技	画廊課題	富田由紀子	120時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
目的に合った素材、手法を選択し、絵画制作を行う。 最終的には作品を画廊で発表し、その間の展示までの流れを経験することを目標とする。			
【授業概要】			
作品制作後、画廊展示を行い展示までの流れを経験する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ミーティング・役割分担決定		
2	ミーティング・画廊展示会場測定(展示壁面割り振り)		
3	ミーティング・DM作成(展示名、デザイン案出し)		
4	絵画制作		
5	〃		
6	〃		
7	〃		
8	〃		
9	〃		
10	〃		
11	〃		
12	〃		
13	ミーティング・DM・キャプション作成		
14	ミーティング・DM入稿		
【成績評価方法】			
授業への積極性、作品の完成度により客観評価する。 出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外とする。			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
展示に向けたミーティングを行い、展示プラン・各自のサイズ・DMの内容・搬入搬出プランなどを計画し、実制作に入る。			
担当教員は1996年 VOCA'96 上野の森美術館 奨励賞受賞。1996年「美術の内がわ・外がわ」板橋区立美術館にて展示。			
その他「メディテーションー真昼の瞑想」栃木県立美術館、「アートとともにー寺田小太郎コレクション」府中市美術館			
2013年 富田由紀子展 練馬区立美術館などで展示経験あり。現在はギャラリー椿(東京、京橋)で隔年個展を行っている。			

東洋美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
造形専門課程	絵画科 昼間部(2年制)	2024	2年・前期
授業区分	授業科目名	担当教員	時間数
実技	絵画表現3	中山 正樹	68時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
エスキースの重要性を体感すること。また、人間の持っている視覚、聴覚、味覚、触覚、臭覚の5感の中で「聴覚」からのイメージを重視した絵画を制作し、理解を深めることを目標とする。			
【授業概要】			
音楽をモチーフとした感覚的な絵画を30号サイズ以上で制作する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	エスキース		
2	制作		
3	"		
4	"		
5	"		
6	"		
7	"		
8	"		
9	"		
10	"		
11	批評会		
【成績評価方法】			
課題への理解度、作品の完成度により客観評価する。 出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外とする。			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
絵画科1年生では写実(デッサンを含む)を基本として学習し、2年次の絵画表現の授業では1年次で学習したことを基礎として更に発展させた課題を実習していく。担当講師はスルガ台画廊の個展をはじめとして、ときわ画廊、藍画廊、田村画廊 その他多くの画廊で個展を行う。海外の画廊でも多くの作品を発表している。			